

建設工事受注動態統計（大手 50 社）の季節調整替えについて

建設工事受注動態統計（大手 50 社）における季節調整値について、以下のとおり改定しました。

1. モデル選定方法について

- 季節調整手法は、米センサス局の X-12-ARIMA（ver_m2_2）を使用しております。
- 異常値は、(011) (011) モデルにおいて OUTLIER コマンドを用いて、A0・TC・LS を自動選定しております。
- 曜日調整は、標準型曜日調整（TDNOLPYEAR）、2 曜日型曜日調整（TD1NOLPYEAR）、うるう年調整（LPYEAR）、日本型休日（HOL_a）、日本型休日慣例含む（HOL_b）のうち、有意かつ AIC が最小となる組み合わせを使用しております。
- モデル次数は、AUTOMDL コマンドで自動選定しております。
- 推計期間は、1986 年 1 月～2024 年 12 月、予測期間は+1 年としております。
- なお、1985 年 12 月以前の季節調整値については、現在公表されている季節調整値を用いることとしております。

2. 各系列のスペックについて

系列名	総計	民間等計		公共計	国機関計		
		民間非住宅	民間住宅		国	独法等	
モデル		(011) (111)	(311) (011)		(311) (011)	(011) (011)	
異常値		A01996. Sep LS2008. Dec A02013. Sep A02024. Jul	LS2008. Oct		TD1NOLPYEAR LS2018. Jun	A02014. Apr A02016. Sep	
期間		1986. 01～2024. 12			1986. 01～2024. 12		

系列名	地方機関計					駐留軍・外国公館、 小口工事		海外
	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他				
モデル	(011) (011)	(011) (011)	(111) (011)	(211) (011)	(011) (111)			
異常値	A01992. Aug TC1992. Aug A01994. Nov A01996. Jan TC2011. Sep TC2011. Nov TC2014. Feb A02017. Mar	TC2017. Jul A02017. Aug A02024. Apr		A02008. May TC2012. Jul A02015. May	LS1987. Sep A01988. Oct A01990. May A01995. Apr A01999. Mar LS2000. Mar LS2002. Apr A02006. Sep A02009. Sep	A02016. May TC2017. Sep A02017. Oct A02017. Dec A02022. Sep A02023. Mar A02023. Sep A02024. Aug		
期間	1986. 01～2024. 12					1986. 01～2024. 12		

建設工事受注動態統計（大手50社）における対応表

建設工事受注額(大手50社)		フラグ	備考
総計		2	民間等計＋公共機関計＋駐留軍・外国公館、小口工事＋海外
民間等計		2	民間非住宅＋民間住宅
民間非住宅		1	
民間住宅		1	
公共機関計		2	国機関計＋地方機関計
国機関計		2	国＋独法等
国		1	
独法等		1	
地方機関計		2	都道府県＋市区町村＋地方公営企業＋その他
都道府県		1	
市区町村		1	
地方公営企業		1	
その他		1	
駐留軍・外国公館、小口工事		1	
海外		1	

※「民間非住宅」は、「民間等計」から「住宅」を除いた系列。

※「独法等」は、「独立行政法人」「公団・事業団」「政府関連企業等」を指す。

※「民間等計」は工事種類別、「公共計」は発注者別で集計。

※フラグの列における数値は、以下のとおり。

1：季節調整を行う系列、2：集計により作成する系列

※グレー網掛けは、原数値を使用する系列。